

平成 27 年 3 月 26 日

各 位

株式会社 三井住友銀行

石坂産業株式会社の「S M B C 環境配慮評価私募債eco バリュースアップ」
買受けについて

株式会社三井住友銀行（頭取：國部 毅）は、石坂産業株式会社（代表取締役社長：石坂 典子）の発行する「S M B C 環境配慮評価私募債 eco バリュースアップ」を買受け致しました。

三井住友銀行では、環境問題を重要な経営課題のひとつと認識し、地球環境保全と企業活動との調和に取り組んでおります。特に、地球環境の維持向上につながる商品の開発やソリューション提供は、金融機関として本業を通じ社会的責任を最も効果的に果たせる業務と考え、力を入れて取り組んでおります。

「S M B C 環境配慮評価私募債 eco バリュースアップ」は三井住友銀行独自の環境配慮評価基準で定量評価を行い、環境経営の実務に詳しい大手監査法人等に定性評価を委託することで、評価結果に応じた買受け条件の設定を行うとともに、評価結果の提供や、現状の分析、今後の改善余地、先進事例などをご提供する私募債です。

今回対象となった、石坂産業株式会社に対する環境配慮状況の評価結果は、企業経営において極めて優良かつ特徴的な環境配慮を実施されているとの評価となりました。

特に、「里地里山再生プロジェクト」として自社周辺に育んだ生物多様性豊かな森を発展させ、自然・地域との共生プロジェクトとして「三富今昔村」をオープンすることにより、自然環境のみならず地域の産業・文化の保全にも貢献し、CSV を実現しようとしている点、 自社事業の強みを生かした環境分析事業の開始や、大学の研究室や公設試験機関と連携し、再生商品に関する先進的な研究開発に取り組むなど、廃棄物を資源としたバリューチェーン・ビジネスの実現に取り組まれている点、 減量化・再資源化率 95%という高い実績を実現しながらも、完全な循環型社会を目指し、分別分級の徹底など、独自の「ごみにしない技術」を追究されている点、 平成 26 年～29 年度における CO2 排出削減目標を設定し、電力のデマンドコントロールや太陽光発電機の増設、全電灯の LED 化など、様々なエコアイデアを実践し、工場の持続可能性を高め続けられている点などが高く評価されました。

なお、石坂産業株式会社に対する「S M B C 環境配慮評価私募債 eco バリュースアップ」の買受けは 2 回目となり、前回の評価結果を受けて更に環境取組を進化させ、この度、本商品初の最上位評価取得となっております。

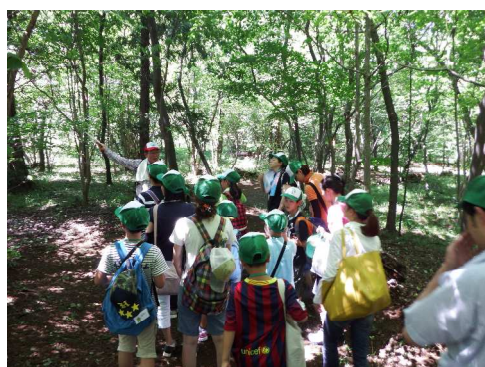
三井住友銀行では、本業を通じ、環境配慮を進める企業の活動を支援して参ります。



本社空撮



仕分場



今昔村「里山」体験の機会の場合
ガイドウォーク

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。